

児童労働反対世界デー・キャンペーン 2008



署名を受け取った小野寺副大臣(当時)と

6月12日は国際労働機関（ILO）が定めた「児童労働反対世界デー」です。キャンペーン3年目となる今年、児童労働ネットワーク（以下CL-Net）では、5月1日～6月30日の期間、「児童労働反対世界デー・キャンペーン 2008」を開催しました。CL-Net 及び、キャンペーン賛同団体によるイベントが各地で開かれ、多くの方に参加していただきました。今年のテーマは「働く子どもに教育を」。そこで「『働く子どもに教育を』1万人署名」を実施し、日本政府の児童労働への取り組み強化に対する国民の声を集めました。全国から1万人以上の署名が寄せられ、人々の児童労働問題への関心が年々高まっていることを実感した2ヵ月となりました。

メインイベント「働く子どもに教育を！」

6月8日（日）に、ILO 駐日事務所、NGO - 労働組合国際協働フォーラム、CL-Net の共催で、キャンペーンのメインイベントであるムービー＆トークをUNハウス（国連大学ビル）のウ・タント国際会議場にて行いました。今年のテーマ「児童労働、教育、貧困 ～インド、そして世界の子どもたちは」に合わせて、特別ゲストによるトーク、ビデオ上映、パネルディスカッションを行いました。

当日は、幅広い年齢層から約400名の参加者が来場し、会場はほぼ満席となりました。また、会場入り口では「働く子どもに教育を」1万人署名活動も行い、多くの方に署名にご協力いただきました。イベント終了後は、表参道で児童労働反対世界デー・ウォークを行いました。

酒井美紀さん「学んだことをみんなに伝えて」

特別ゲストとして酒井美紀さん（女優、特活ワールド・ビジョン・ジャパン親善大使）を招き、フィリピンやインドでの経験、私たちにできることについてお話いただきました。酒井さんは、フィリピンのゴミ山を訪れたとき、一家の生計を支えるために働く女の子に出会いました。そこで、子どもが学校に行きたくても働かなければならない大変な生活状況と、その改善の難しさなどを感じたと話していました。

また、自身が親善大使を務めるNGOが支援するインドの学校やスマトラ沖地震・津波の被災地を訪問し、子どもたちの笑顔が印象的だったこと、児童労働はおとなの問題でもあること、おとなが働いて経済的な余裕ができると生きていく自信につながるなど、感じたことをお話してくださいました。



特別ゲストの酒井美紀さん

最後に、酒井さんの視点から「一人一人の力は微力でも、微力を集めて、できることから始めること。知ることがまず一歩で、学んだことをみんなに伝えてほしい。」と参加者に訴えました。

児童労働反対世界デー・ウォーク！

ムービー＆トークイベントの終了後、「児童労働反対世界デー・ウォーク」を行いました。イベント会場のUNハウスを出て、表参道、原宿交差点、明治神宮前を通過し、代々木公園までを歩きました。休日のにぎわう表参道で、道行く人々に児童労働について知ってもらおうと、児童労働反対のメッセージが書かれたプラカードや、児童労働反対世界デーのシンボルである風ぐるまなどを持って歩きました。

沿道では、「働く子どもに教育を」1万人署名への協力の呼びかけも行いました。今年はウォークへの参加者約200名と、ダンスチームや民族音楽チームも加わり、楽しい雰囲気の中ウォークとなりました。



表参道を楽しくウォーク！

また、同日には大阪でも「児童労働を考えよう関西ウォーク」が開催されました。児童労働に関するビデオ上映の後、小学生から社会人まで、幅広い年代の参加者が大阪の御堂筋を歩きました。一番前を小学生たちが横断幕を持って歩いてくれました。高校生や大学生の参加者が、「ストップ、ストップ、児童労働！」「子どもたちには教育を！」とマイクで掛け声をリードして、参加者全員でそれに呼応するように声をあげて街行く人たちに伝えました。雨の予報が出ていたため天候が心配でしたが、当日は雨に降られることなく、気持ちのよい天気の中ウォークをすることができました。

毎年30名から40名ほどの参加者でしたが、今年は80名近い人の参加がありました。街中では、いつもよりも多くの人の注目があつたように思います。



撮影：香川清華

メインイベント

～パネルディスカッション「児童労働と教育」～

はじめに、長谷川 ILO 駐日代表から、今年の児童労働反対世界デーのテーマ「児童労働と教育」について発表がありました。そして、インド、児童労働との関わりが深く、現場での活動にも詳しい大学教授や NGO の専門家 3 名のパネリストによる発表が行われました。モデレータは CL-Net 運営委員で ACE 代表の岩附由香氏が務めました。

児童労働、教育、貧困 インド、そして世界の子どもたちは
大橋正明氏 恵泉女学園大学教授、(特活)国際協力 NGO センター理事長、(特活)シャプラニール=市民による海外協力の会理事



インド・ビハール州の農村部に住む被差別カーストの子どもたちが、ガンディーのサルボダヤ運動による学校教育を受けるようになって、35 年後どのように変わっていったかについて発表がありました。大橋さんはそこで学んだこととして、生徒には生活向上のために学ぶ意志の強さがあること、また貧しい被差別民には、卒業後は、土地の入手や技術の習得、進学、仲間とのネットワーク、教育課程修了の証明証書が重要であると話しました。

大橋さんはそこで学んだこととして、生徒には生活向上のために学ぶ意志の強さがあること、また貧しい被差別民には、卒業後は、土地の入手や技術の習得、進学、仲間とのネットワーク、教育課程修了の証明証書が重要であると話しました。



カンボジアにおける児童労働と教育
～人身売買の被害に遭う子どもたち
甲斐田万智子氏 (特活)国際子ども権利センター代表理事、立教大学・桜美林大学非常勤講師

カンボジアの児童労働について、特に最悪の形態である人身売買、性的搾取、労働搾取の状況についての説明がありました。最悪の形態の

「働く子どもに教育を」1 万人署名！

日本では、政府開発援助 (ODA) における児童労働撤廃に向けた取り組みへの資金拠出が、他の G8 諸国に比べて低いという現状があります。私たちの生活の中で使われているものの中には、児童労働に関係しているものも指摘されており、日本も無関係ではありません。そこで、今年 7 月上旬に開催された G8 北海道洞爺湖サミットの議長国であった日本政府に対し、「ミレニアム開発目標」の「2015 年までに世界中のすべての子どもが初等教育を修了する」という国際目標が達成されるよう、児童労働撤廃へ向けた国際援助の強化を求め、署名を集めました。

<http://stopchildlabour.jp/modules/articles/childlabour.html>

外務副大臣に提出！

6 月 12 日の「児童労働反対世界デー」当日、それまでに集まった署名を一度集計し、外務省へ提出しに行きました。CL-Net からの代表団は小野寺五典外務副大臣 (当時、G8 外務大臣会合議長) に面会し、全国 47 都道府県から集まった約 3000 人分の署名を提出しました。NGO 活動の経験を持ち、教育支援に力を入れる山内康一衆議院議員も同席しました。CL-Net の堀内代表より、「日本は G8 諸国の中でも児童労働に対する援助が少ないのが現状です。ぜひ力を入れてください。」と日本政府の児童労働への取り組みの強化の要望を伝え、署名とともに寄せられた市民のみなさんのメッセージ

児童労働を防ぐためには、教育の質や学校の設備の改善、貧困対策、社会の意識を変え、偏見をなくすこと、子どもの権利についての社会の責任などが重要であると指摘しました。

児童労働から教育へ～世界の子どもたちは
堀内光子氏 児童労働ネットワーク代表、文政学院大学大学院客員教授



世界における児童労働と教育の現状および相関関係について、また、児童労働の要因、教育への障害要因などを踏まえ、児童労働者に教育の機会を与える取り組み事例についての説明がありました。子どもを児童労働から引き離し教育を推進するための国際協力として、貧困や教育の活動に児童労働の課題を組み込むべきであること、また日本の児童労働への援助額はとても少ないためもっと資金が必要であることを強調しました。

も少ないためもっと資金が必要であることを強調しました。

「インド・学校が楽しい！」ビデオ上映

ビデオ「インド・学校が楽しい！児童労働者学校の子どもたち」は、児童労働をしていた子どもたちのための学校に通う少年の姿を描いたドキュメンタリーです。貧しい家計を支えるために機織りの仕事をしている少年が、インド政府が運営する児童労働者のための学校に通えるようになり、友達と学ぶことの喜びを知り、自信を持ち、将来を切り開いていく力をつけていく様子を描いています。「児童労働をするよりも、学校に行き、将来は今よりもいい暮らしをしてほしい」と願う少年のお母さんや学校の先生。また一方、機織りの仕事をしている妹をはじめ、学校へ行きたいと願っているがその機会が与えられず働き続けなければならない子どもたち、奨学金や教師の給料が遅れてしまう学校運営の問題など、インドの児童労働、貧困、教育をめぐるインドの実情と、様々な人びとの思いが描かれていました。

を読み上げました。小野寺副大臣は、「先進国の責務として、(児童労働の撤廃を実現できるように)がんばっていききたい。」とコメントした上で、「外務省全体で努力してまいります。」とのメッセージつきで、自筆で署名カードに署名しました。

総署名数 12,004 人！

キャンペーン期間を通じて署名を集めた結果、インターネットによる署名 2,017 人分、署名カード 9,987 人分、合計 12,004 人分の署名が集まり、目標数 1 万人を達成することができました。7 月 24 日には再び外務省へ提出しに行き、目標人数 1 万人以上の署名が集まったことを報告し、児童労働の現状について意見交換を行いました。署名をしてくださった皆様、また署名を呼びかけてくださった皆様、ご協力ありがとうございました。心より感謝申し上げます。



全国から集まった署名



副大臣も自ら署名

キャンペーンイベントレポート

今年のキャンペーンでは、新潟、愛知、大阪、兵庫、福岡、北海道など、全国各地で25のイベントが行われました。

新潟「児童労働って何？」

7月の北海道洞爺湖サミットを前に、新潟で開かれたG8労働大臣会合を受け、NVC新潟国際ボランティアセンターG8プロジェクト実行委員会は、市民によるイベントとして、児童労働に関する講演会を開催しました。講師としてACEの白木朋子事務局長を招き、児童労働とは何か、私たちの身の回りにどのように関係しているのかなどを学びました。講演では、児童労働の現状、児童労働が起こるしくみ、ディーセントワーク（人間尊重の仕事）の重要性、児童労働と教育の関係などに焦点を当てたお話がありました。当日は100人以上の参加者が集まり、講演後行われたグループディスカッションでは、日本に住む私たちにできることは何かを話し合い、様々な意見が交換されました。

講演会場では、児童労働をしている子どもたちの写真展も行われました。来場者は、講演を聞くだけでなく、児童労働の実態を目で見て感じ、学ぶことができました。



グループディスカッションの様子

福岡「フィリピン僕らの5日間」

福岡では、ソルト・パヤタス・ファウンデーション（以下ソルト）が主催となり、写真展「フィリピン僕らの5日間」が行われました。ソルトは、フィリピン・ケソン市のパヤタス、カシグラハンというゴミ山周辺のスラムに暮らす人々への支援を行っているNGOです。この写真展を通じて、フィリピンのごみ山で働く子どもたちをはじめ、世界の働く子どもたちの存在を広く多くの方に知ってもらおうと、フィリピンを中心に多くの写真や資料などを展示しました。

会場となった場所は、日頃からコンサートや講演会、展示会が行われている場所で、会場を訪れたついでに足を止めてくださる方が多くいました。受付を常設し、来場者の感想や質問などもその場で受けました。



写真展の様子

キャンペーンの署名も呼びかけたところ、声をかけたほとんどの方が快く受けてくださり、多くの署名を集めることができました。

兵庫 KOBE 発フェアトレードデー

神戸では、フェアトレードひょうごネット主催の、フェアトレードデーが行われました。当日は、フェアトレードの物品の展示・販売や、民族音楽のライブ演奏、アジアのおもちゃで遊ぶコーナーや、フェアトレード・コーヒーの飲みくらべ、フェアトレードを紹介する寸劇、ファッションショーなどが行われました。1,000人近くの来場者があり、毎年5月に行っていることから常連の方が多く、また、子どもたちも多く駆けつけてくれました。

フェアトレードひょうごネットは、兵庫県内の13のNGO・NPO団体が、フェアトレードを広く市民に紹介する目的で集まっています。その中には、地雷の被害を受けたラオスの子どもたちの支援、ビルマの孤児支援、アジアの子ども遊びなど、それぞれ現場で子どもの支援に関わっているグループも多く、当日は、各団体のブースも設置され、活動内容と商品の説明が行われました。



フェアトレードのお店で真剣に買い物をする参加者

北海道「教科書にのっていないアフリカ」

北海道では、ワールド・ビジョン・ジャパン主催の体験型イベント「教科書にのっていないアフリカ」が5日間に渡って行われ、2,000人近くの方が来場しました。このイベントでは、臨場感あふれるビジュアルとサウンドを通して、実在する子どもたちのうち、1人の人生を追体験することで、紛争、貧困、HIV/エイズがアフリカの子どもたちに与える影響を、“子どもたちの視点”から体験することができます。

体験できる子どものストーリーの一つは、ウガンダ北部の紛争で子ども兵士となった男の子の話。児童労働の中でも最悪の形態である兵士としての過酷な経験は、多くの体験者に衝撃を与えたようです。

イベント体験後、参加した方は真剣な表情で、アフリカの子どもたちの厳しい現状に思いを馳せてくださいました。参加者は、学生や、小さなお子様を連れた方々の姿が目立っていました。



イベント体験者からアフリカの子どもたちへ多くのメッセージが寄せられた

愛知 伝える・つなぐ・変わる...

名古屋市では、NTT 労組愛知県グループ連絡協議会が主催の「児童労働撲滅キャンペーン in 名古屋」が開かれました。当日のステージ会場では、NTT 労組音楽サークルによる演奏、保育園児によるハーモニカ演奏、シャボン玉ショー、NTT 労組インドスタディーツアー報告、カンボジアのヘイン・ピボル氏による現地活動報告が行われました。また、金山駅コンコース内でのブース・パネル展示場では、ILO 駐日事務所、NGO・NPO の出展協力による児童労働の現状紹介と、NGO、NPO による活動紹介、物品販売などが行われました。天気にも恵まれ、約 3,500 人の市民が来場しました。

また、ステージ会場では、「国境なき音楽団」の庄野真代さんのミニ・コンサートも行われ、ヒット曲「飛んでイスタンブール」を熱唱してくださいました。



ステージでの報告。たくさんの方が聞いてくれました。

働く子どもの自立への挑戦～芸術を通じた変化とは？

働く子どもの『遺産と伝説』キャンペーン(以下 OLAL)は、インド活動報告会「働く子どもの自立への挑戦～芸術を通じた変化とは～」を主催し、スピーカーとしてインドの芸術家ジョン・デバラジ氏と日本人活動家の中山実氏、ポーンフリースクールで活動する元・働く子どもたちが来日しました。当日は、OLAL とポーンフリースクールの成り立ちや活動についての説明、また、インドの子どもたちの現状と、私たち日本人とのかかわりについて写真を用いた説明がありました。「ポーンフリースクール」は、インドで働く子どもや路上生活の子どもたちが、写真をはじめとした芸術活動を通して子どもらしさを取り戻し、正規の学校へ戻ることを目指す学校です。子どもたちによるパフォーマンス、歌、ダンスも披露され、元・働く子どもだった二人の子どもたちの体験談が話されました。



インドから子どもたちが来日

ACE 全国講演キャラバン 名古屋・札幌・大阪

ACE は「わたし 8 歳、カカオ畑で働きつづけて～チョコレートから考える、私たちとのつながり」というテーマで、名古屋、札幌、大阪を回る全国講演キャラバンを行いました。児童労働の現状を描いたビデオ上映や、ガーナでの現地調査の報告、ガーナのカカオ産業における児童労働についての講演を行いました。グローバル化した経済における児童労働と日本の関わりや、児童労働をなくすために政府、企業、個人が果たすべき役割についてもお話ししました。

いずれの会場でも、幅広い世代の方から多くの参加があり、質問タイムでは会場から次々に質問が飛び、参加者の関心が高いこともうかがえました。



大阪での講演会の様子

第 5 回 ACE チャリティフットサル大会

ACE 主催によるチャリティフットサル大会が、今年も J-Foot 浦和美園で開かれました。ピギナーとレギュラーリーグに分かれて全 22 チームがフットサルを楽しみました。総勢 200 名が参加し、大人も子どもも、男性も女性も、国籍も関係なく、白熱した試合が繰り広げられました。チーム対抗クイズ大会や、サッカーボウリング、チャリティーオークション、ジャンケン大会も試合の合間に行いました。

この大会では、適正な労働条件によって作られ、児童労働が使われていないことが保障されているフェアトレードのサッカーボールを使用しています。大会による収益金は、児童労働をなくすための ACE の国際協力事業の実施に使われます。

ワークショップ「チョコレートから考える児童労働」

ACE は、今年 2 月にガーナで行った、カカオ生産地域における児童労働に関する調査報告とワークショップを行いました。報告会では、カカオ生産地の教育状況、子どもたちの労働状況やカカオ農家の暮らしなどの調査結果を発表しました。

ワークショップでは、ガーナと日本の家族を演じるゲームを通じて、子どもが働かなければならない理由や世界貿易のしくみが影響していることについて学んでもらいました。複雑に絡み合っている問題が起きていることを体感した後、日本の私たちに何ができるかをグループで考えてもらいました。

多様な参加者が集まったことで、ディスカッションが深まり、新しい発見や今後の活動への前向きな感想を多くいただくことができました。



ワークショップで意見を交わす参加者

かものはしプロジェクト活動説明会

かものはしプロジェクトでは、カンボジアにおける児童売春問題の現状とその問題解決に取りくむ当団体の活動説明と、支援者との交流会を目的とした、かものはしプロジェクト活動説明会（通称：二本会）が月に一度行われています。今回は、総勢 53 名の参加者がありました。当日は、かものはしプロジェクトの紹介と説明、活動内容とカンボジア児童売春の最新情報の報告がありました。カンボジアでの児童売春は、法律上では禁止されているため、カラオケやレストランなどの斡旋が増え、さらに問題が見えにくい深刻な状況になっています。説明会終了後は、参加者とスタッフの交流を深める親睦会が行われました。

学習会「ILO/IPEC 最新動向」

スイス、ジュネーブの ILO 本部より来日していた、ILO/IPEC 部長のミシェル・ジャンカニシュ氏、ILO/IPEC プログラム・オフィサーの小笠原稔氏を招き、第 18 回 CL-Net 学習会を行いました。ジャンカニシュ氏からは「児童労働問題に対する国際社会の今後の課題」について、小笠原氏からは「アフリカにおける児童労働撲滅への取り組み」についてお話いただきました。

おふたりからは ILO の最新動向について専門的なお話を聞くことができました。参加者は社会人、学生を中心とした 20 名で、質疑応答でも問題意識の高い参加者から、積極的な質問が出され、大変濃い内容となりました。



ILO/IPEC 部長のジャン・カニシュ氏

報告会「カンボジアの児童労働と教育」

国際子ども権利センター（シーライツ）では、「カンボジアの児童労働と教育」と題し、代表理事・甲斐田万智子と現地スタッフ・近藤千晶によるカンボジアの児童労働の現状と教育への取り組みについての説明と、カンボジア・スタディーツアー参加者による報告を行いました。児童労働については、ベトナムやタイへの出稼ぎ労働のほか、子どもの性的搾取やレンガ工場の労働など、いくつかの分野における最悪の形態の児童労働についても報告しました。最後の質問タイムには、カンボジアの子どもたちに関することや、ツアーでのホームスティ先での様子、日本企業の支援状況にまで話が及び、CSR に対する関心の高まりもうかがえました。



報告会の様子

児童労働撲滅キャンペーン in 神奈川

NTT 労組神奈川県グループ連絡協議会主催の「児童労働撲滅キャンペーン in 神奈川 2008」では、児童労働撲滅活動をしている NPO による活動報告や、児童労働の実態などを伝える写真パネルを展示しました。また、サッカーボール縫いを多くの方に体験してもらい、児童労働の過酷さを肌で実感してもらいました。さらに、横浜大道芸のクラウンショー、中国雑技団のショーなども行い、会場には 1,000 人ほどの観衆が集まりました。



児童労働体験コーナー。サッカーボール縫いを行う参加者。

グッドネーバース・トークイベント

グッドネーバースでは、初めての「児童労働を考えるトークイベント」が開催されました。イベントでは、青年海外協力隊としてカンボジアで 2 年の活動経験を持つ、事務局長高木晃がカンボジアにおける児童労働の現状についてお話ししました。また、グッドネーバース特別顧問のチョンクムソンが、写真やビデオ画像を利用しながらアフガニスタンの子どもたちの現状と子どもの権利についてお話ししました。大学生から 80 歳を迎えられるお年寄りの方まで、幅広い年齢層の方の参加がありました。

チャリティコンサート ハートぽっぽ 2008 ~ 子どもたちに夢を ~

アムネスティ・インターナショナル日本は、チャリティコンサート「ハートぽっぽ 2008 ~ 子どもたちに夢を ~」を行いました。イベント第一部では、子どもの権利や街づくりについて活動している川崎市の子どもの会議のメンバーたちが「子どもによる子どものための子どもの権利条約」（小学館）より、児童労働に関係のある条文を朗読しました。また、Big Marble Family による歌と、参加者全員による歌の合唱がありました。第二部では、3 人の女性ヴォーカリストを中心とするソウル・ジャズ・ラテン・アフリカンなど様々な音楽がジャンルを超えて混ざり合う、Big Marble Family のオリジナル曲を紹介しました。

映画『おいしいコーヒーの真実』

（有）アップリンクでは、フェアトレードを題材にしたドキュメンタリー映画『おいしいコーヒーの真実』を 5 月 31 日から上映しています（10 月 31 日まで）。フェアトレード団体はじめ多くの方々の協力を得て、初日は満員御礼！東京の劇場では、6 月中だけでも 5,000 人の来場者があり、大ヒットロングラン上映となりました。また、映画を見てそれで終わりにならないよう、劇場の受付でフェアトレード・コーヒーの販売を行ったり、フェアトレード団体や関係者、途上国支援をしている NGO をスピーカーとして招き、定期的にトークイベントを開催いたしました。

2008年キャンペーン・イベント一覧

日程	イベント名(会場)	主催	実施地	参加者
5/7(水)-9(金)	児童労働写真展	連合新潟、NGO-労働組合国際協働フォーラム 児童労働グループ	新潟県新潟市	500
5/8(木)	かものほしプロジェクト活動説明会	NPO法人かものほしプロジェクト	かものほしプロジェクトオフィス	53
5/10(土)	世界フェアトレードデー2008	グローバル・ヴィレッジ/ピープル・ツリー	東京都千代田区	700
5/10(土)	インド 働く子どもの自立への挑戦 ~芸術を通じた変化とは?~	働く子どもの『遺産と伝説』キャンペーン、ボーンフリーアートスクール	東京都文京区	40
5/11(日)	講演会「児童労働って何だろう?」	NVC新潟国際ボランティアセンター	新潟県新潟市	110
5/16(金)	ACE全国講演キャラバン 「わたし8歳、カカオ畑で働きつづけて」 in 想念寺(名古屋)	(特活)ACE、想念寺(名古屋)	愛知県名古屋市	50
5/17(土)	2008児童労働撲滅キャンペーン in 名古屋	NTT労組中央本部/愛知県グループ連絡協議会	愛知県名古屋市	3,500
5/18(日)-6/15(日)	児童労働写真パネル展	ILO駐日事務所、JICA横浜	神奈川県横浜市	3,000
5/18(日)	児童労働写真パネル展オープニングイベント	ILO駐日事務所、JICA横浜	神奈川県横浜市	40
5/19(月)	第18回児童労働ネットワーク学習会「ILO/IPEC最新動向」	児童労働ネットワーク(CL-Net)	東京都千代田区	20
5/19(月)-25(日)	写真展「フィリピンぼくらの5日間 ごみ山の人たちが教えてくれたこと」	ソルト・パヤタス・ファウンデーション	福岡県福岡市	300
5/24(土)	第5回ACEチャリティフットサル大会	(特活)ACE	埼玉県さいたま市	200
5/25(日)	KOBE発フェアトレードデー	フェアトレードひょうごネット	兵庫県神戸市	1,000
5/31(土)	児童労働撲滅キャンペーン in 神奈川2008	NTT労組 神奈川県グループ連絡協議会	神奈川県横浜市	1,000
5/31(土)-(終了日未定)	映画『おいしいコーヒーの真実』	(有)アップリンク	東京都渋谷区	5,000
6/2(月)-15(日)	児童労働パネル展示(児童労働と教育)	ILO駐日事務所	UNギャラリー	1,000
6/8(日)	メインイベント トーク&ムービー「児童労働、教育、貧困 ~インド、そして世界の子どもたちは」	ILO駐日事務所、NGO-労働組合国際協働フォーラム、児童労働ネットワーク	東京都渋谷区	450
	児童労働反対世界デー・ウォーク			200
6/8(日)	児童労働を考えよう関西ウォーク	(特活)フリー・ザ・チルドレン・ジャパン、(特活)国際子ども権利センター	大阪府大阪市	80
6/11(水)-15(日)	教科書にのっていないアフリカ	(特活)ワールド・ビジョン・ジャパン	北海道札幌市	1,952
6/12(木)	セミナー「児童労働と教育 アフリカで今、何が必要か」	ILO駐日事務所、JICA横浜	神奈川県横浜市	70
6/12(木)	ACEトークイベント	(特活)ACE、(有)アップリンク	東京都渋谷区	70
6/14(土)	カンボジアの児童労働と教育 ~スタディーツアー参加者が見た子どもたちの現状	(特活)国際子ども権利センター	東京都文京区	33
6/14(土)	チョコレートから考える児童労働 ~ワークショップ&ガーナ報告会	(特活)ACE	東京都千代田区	40
6/17(火)	ACE全国講演キャラバン「わたし8歳、カカオ畑で働きつづけて」 in 大阪	(特活)ACE、松下電器産業(株)ハートフルクラブ事務局(大阪)	大阪府大阪市	30
6/18(水)	グッドネーパーズ・トークイベント	(特活)グッドネーパーズ・ジャパン	東京都文京区	10
6/23(月)-29(日)	児童労働写真パネル展	前橋市役所職員労働組合、NGO-労働組合国際協働フォーラム児童労働グループ	群馬県前橋市	
7/5(土)	アムネスティ・チャリティコンサート ハートぼっぼ2008~わたしたちにも夢を~	(社)アムネスティ・インターナショナル日本	神奈川県川崎市	87

19,535

映画『おいしいコーヒーの真実』

トールサイズのコーヒー1杯 330円。コーヒー農家が手にする金額、約3円。あなたが飲む1杯のコーヒーから、世界のしくみが見えてくる。

コーヒーは世界で最も日常的な飲料。全世界での1日あたりの消費量は約20億杯にもなる。コーヒー豆は世界市場において石油に次ぐ巨大な国際的貿易商品でありながら、コーヒー豆生産者は困窮している現実。一体なぜ?? コーヒー産業の実態を暴きながら、貧困に苦しむコーヒー農家の人々を救おうとする一人の男の戦いを追う。生産者、企業、消費者。コーヒーが飲まれるまでの道のりに、深いドラマがある。1杯のコーヒーを通して、地球の裏側の人々の生活と世界の現実を、あなたは深く知ることになるだろう。



アップリンク <http://www.uplink.co.jp/oishiicoffee/>

〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町 37-18 トツネビル 2F tel.03-6821-6821 fax.03-3485-8785

2008年度 児童労働反対世界デー・キャンペーン 決算

【収入】

単位(円)

大科目	項目	2008年実績	2008年予算	内訳等
キャンペーン運営費	賛同団体	170,000	70,000	5000円×34口(15団体)
	賛同企業	110,000	400,000	1万円×11口(2企業)
寄付		1,320		
CL-Net予算より		15,845		
収入合計(A)		297,165	470,000	

【支出】

大科目	項目	2008年実績	2008年予算	備考
広報費(印刷物)	ポスター	21,744	20,600	A2、片面(フルカラー)×200枚
	ちらし	69,100	54,100	A4、両面(表カラー、裏モノクロ)×15,000枚
	写真使用料	24,000	24,000	ちらし12000円、ポスター12000円
	ちらしデザイン料	30,000	30,000	ちらし、ポスターデザイン代として
広報費(ウェブサイト)	ウェブデザイン料	10,000	10,000	ウェブサイト用バナーデザイン代として
	ウェブサイト作業費	20,000	20,000	ウェブサイト更新・管理作業代として
	ドメイン管理料	0	3,690	全体予算より支出
署名関連費用	署名カード作成費	49,096	28,000	カード印刷 10,000枚
	ミシン目入り		9,500	
署名パネル	パネルボード	18,375	44,000	有)フィレール
	ラベル	1,764		裏面用のラベル
ウォーク関連費	ウォーク広告費	0	50,000	アドバイク1台分
	ウォーク実施費用	26,611	50,000	かざぐるま(11,400)、文具類(13,936円)、ガソリン代(1,275)
送料		9,520	10,000	ちらし、ポスター発送料
消耗品		1,150	15,000	封筒、紙代、文房具等
印刷費		3,890	20,000	メインイベント配布物
交通費		1,600	5,000	
イベント支援費		10,000	50,000	1万円×1団体(関西ウォーク)
予備費		315	26,110	銀行手数料等
支出合計(B)		297,165	470,000	

収支合計(A-B)		0	0	
-----------	--	---	---	--

キャンペーンを振り返って

キャンペーンも今年で3年目を迎えました。今年のキャンペーンではCL-Netの会員団体、キャンペーン賛同団体・企業を合わせて32団体が参加し、各イベントの総参加人数が2万人以上に上るなど、大きな成果を収めることができました。また今年は、キャンペーン期間中の5月にTICAD IV(第4回アフリカ開発会議)が、7月にはG8サミットが日本で開催されたこともあり、世界の問題に注目が集まる機会が多くありました。その中で、児童労働に対する認知度も高まってきたこと、また、問題意識を強く持っている方が多くいることを感じるキャンペーンとなりました。

今年はキャンペーン期間を通じて「働く子どもに教育を」1万人署名を行いました。初めての試みとして、インターネットを活用した署名の募集や各イベント会場での署名活動、各団体の呼びかけによって、目標数1万人を達成することができました。また、署名の提出が新聞やインターネットニュースで取り上げられました。署名には日本政府に援助の強化を求める力強いメッセージや、児童労働問題に対する熱い声が添えられており、活動への大きな励みとなりました。

今後の課題としては、以下の3点が挙げられます。署名をはじめ、多くの参加があったことから、参加者の意識が年々高まっていることがわかりました。また、参加者の興味範囲も様々であることがわかりました。CL-Netとしては、参加者が次に踏み出すことができる、児童労働の撤廃につながるアクションの選択肢をいかに提示していけるかが課題です。次に、今年のキャンペーンでは昨年よりもメディアの報道が増えましたが、今後もさらにメディアを通じて児童労働について広めてゆくことが重要かつ効果的であると感じました。さらには、キャンペーンを行う上で、企業との協力関係を築いてゆくことが課題としてあります。今年は、賛同団体に2つの企業が参加しました。企業との連携関係を強化することによって、より多くの人々に児童労働について広め、さらに大きなアクションを起こしていきたいと考えています。

CL-Netは今後も児童労働のない社会の実現を目指して、多くの団体と協力、連携していきたいと思っています。キャンペーンにご参加、ご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございました。



キャンペーンイベントで署名する参加者。政府への強い要望も多く寄せられました



メインイベントでのパネルディスカッション。ドキュメンタリービデオの上映も行った



メインイベントには今年も400名以上の参加者が集まった

児童労働ネットワーク会員団体

(社)アムネスティ・インターナショナル日本
(特活)ACE
(特活)エファジャパン
(特活)グッドネーバース・ジャパン
グローバル・ヴィレッジ
(特活)国際子ども権利センター
国際食品労連日本加盟労組連絡協議会
(IUF-JCC)
(財)国際労働財団(JILAF)
Save Children Network
日本労働組合総連合会(連合)

UI ゼンセン同盟

働く子どもの「遺産と伝説」キャンペーン
フード連合
フェアトレード・リソースセンター
(特活)フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
キャンペーン賛同団体
アジアの女性と子どもネットワーク
(特活)アジア子供支援フジワーク基金
(有)アップリンク
(特活)アフリカ日本協議会
N T T 労働組合
(特活)NVC 新潟国際ボランティアセンターG8
プロジェクト実行委員会

NPO 法人 かものほしプロジェクト
合同出版(株)
世界子ども通信ブラッサ
ソルト・バヤタス・ファウンデーション
日本教職員組合
教育協力NGOネットワーク(JNNE)
(特活)ハンガーフリーワールド
ヒューマンライツ・ナウ
フェアトレードひょうごネット
(特活)ラオスのこども
(特活)ワールド・ビジョン・ジャパン

児童労働ネットワーク(CL-Net)は会員を募集中です！！

会員になると、会員のメーリングリストや学習会、運営会(オブザーバー参加)に参加することができます。

会員になるには？

郵便振替口座：00160-8-685281
口座名義：児童労働ネットワーク

銀行振込口座：三菱東京UFJ銀行 上野支店
普通口座 5413699
口座名義：児童労働ネットワーク

会員の種別と会費(会費期限は毎年9月~8月)

種別	個人	団体
正会員 (総会での議決権あり)	一口5,000円(一口以上)	一口10,000円(一口以上)
協力会員 (総会での議決権なし)	一口1,000円(一口以上)	

(振替用紙の通信欄には、必ず会員の種別と口数をご記入ください。)

この短信は児童労働ネットワークのイベントにご参加いただいたみなさま、またネットワークの会員団体とつながりのある皆様にお送りしています。送付先の変更や送付不用の場合は事務局までご連絡ください。

児童労働ネットワーク(CL-Net)事務局

〒110-0015 東京都台東区東上野1-20-9 セリジェ・メゾン・瀬上401号室(特活)ACE内
TEL: 03-3835-7555 FAX: 03-3835-7601 E-mail: info@cl-net.org URL: http://cl-net.org/